

## 事務事業評価調書

事務事業名	専用水道・簡易専用水道等衛生管理指導事業				
担当部名	環境部	室課名	環境保全課	室課長名	道澤 宏行

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成25年度	改正 内容	平成26年4月1日から大阪府特設水道条例に基づく特設水道事務が吹田市に委譲されました。 水質基準に関する省令の一部改正											
(2)	直近の改正	平成26年度													
(3)	根拠法令等	水道法、吹田市簡易専用水道管理運営指導要領等													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	5	環境を守り育てるまちづくり	節	1	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	専用水道設置者、特設水道設置者、簡易専用水道設置者、小規模貯水槽水道設置者、飲用井戸設置者												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	各施設の適切な衛生管理												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	施設の利用者が、安心して水道の飲用をすることができます。												
(7)	事業概要	設置者に対して水道の適正な管理を図るため、届出の審査、確認、受理を行い、施設への立入検査や不適事項の指導や助言を行います。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	6	大事業	5	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		2,025	1,615	2,491	536	1,887							
		人件費	職員数	人	2.00	2.00	2.00	2.00	1.00						
			総額(B)	千円	16,600	15,894	16,704	16,704	8,170						
		総事業費(A+B)		18,625	17,509	19,195	17,240	10,057							
		特定財源(C)		141	130	141	118	141							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	141	130	141	118	141							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		18,484	17,379	19,054	17,122	9,916							
(内訳)	地方債	0	0	0	0	0									
	その他	0	0	0	0	0									
	一般財源	18,484	17,379	19,054	17,122	9,916									
財源計(C+D)		18,625	17,509	19,195	17,240	10,057									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	(株)東邦微生物病研究所										
				②											
				③											
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	主な委託内容					水質検査業務						
①															
②															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 専用水道、特設水道施設立入検査延べ件数	目標値	(単位:件)	29.00	26.00	/
			実績値	(単位:件)	29.00	26.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の積算方法 施設数20 自己水17件+受水のみ9件=26件	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	603.76	663.08		
			一般財源(単位:千円)	599.28	658.54		
	②	指標内容 簡易専用水道検査結果審査件数	目標値	(単位:件)	649.00	633.00	
実績値			(単位:件)	577.00	610.00		
達成度(%)			88.9	96.4			
目標値の積算方法 簡易専用水道対象施設数		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	30.34	28.26		
			一般財源(単位:千円)	30.12	28.07		
(2) 成果指標		①	指標内容 立入検査により確認できた、適切に維持・管理が行われている施設数	目標値	(単位:件)	19.00	20.00
	実績値			(単位:件)	19.00	20.00	
	達成度(%)			100.0	100.0		
	目標値の積算方法 適切に維持管理が行われている施設数/ 立入施設数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	921.53	862.00		
			一般財源(単位:千円)	914.68	856.10		
	②	指標内容 受検結果から確認できた、適切に維持・管理が行われている施設数	目標値	(単位:件)	577.00	610.00	/
実績値			(単位:件)	471.00	496.00		
達成度(%)			81.6	81.3			
目標値の積算方法 適切に維持管理が行われている施設数/ 受検施設数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	37.17	34.76			
		一般財源(単位:千円)	36.90	34.52			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容			目標		
	②	成果内容			達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>水質検査業務や立入検査により、設置者へ指導・助言を行うことによって、適切な施設の衛生管理が行えています。</p> <p>今後も引き続き、届出・報告書の審査により、設置者への指導・助言を行うとともに、業務遂行において必要な水質検査業務の委託や立入検査等をする必要があります。</p>				

## 事務事業分析シート

所属名	環境保全課	事業名	専用水道・簡易専用水道等衛生管理指導事業	事業区分	その他
事務事業番号	00652				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

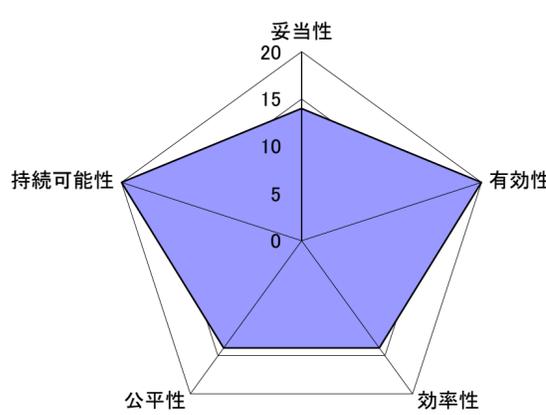
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	14	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 c. 受益者負担を求めておらず、検討する必要がある。(1点)	1	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	環境保全課	事務事業番号	00652
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

(4)公平性 ③適正な受益者負担について、設置者が水道法に基づく水質検査を実施しており、本市は行政指導の観点から水質検査を行うとしたものであり、本市の検査にかかる費用を受益者負担として求めている。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>・専用水道、特設水道、簡易専用水道については、設置者による検査結果の報告や、市による立入検査により、概ね適切に施設の衛生管理が行われていますが、法定検査未受検施設の受検指導及び不適事案の改善指導について、より効果的な指導方法を研究する必要があります。</p> <p>・飲用井戸については、衛生管理にかかる啓発を実施できましたが、小規模貯水槽水道にも、衛生管理にかかる啓発が必要であると考えており、具体的な啓発方法についての検討を進めます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	環境監視事業				
担当部名	環境部	室課名	環境保全課	室課長名	道澤 宏行

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和43年度	改正内容	水質:環境基準値の改正(トリクロロエチレン)											
(2)	直近の改正	平成26年度													
(3)	根拠法令等	大気汚染防止法、水質汚濁防止法、騒音防止法、土壌汚染対策法ほか													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部 <input checked="" type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり) <input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)		一部にチェックした場合はその説明 ダイオキシン類の分析、一般環境騒音の測定、ため池の水質測定等については、自治事務として実施しています。											
(5)	総合計画の体系	章	5	環境を守り育てるまちづくり	節	1	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
			範囲等	吹田市全域											
		目標 (どういう状態にしたいのか)	環境中の大気、水質、騒音を測定すること。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	環境の質を測定することによって、健康被害を未然に防止し、環境負荷の少ない住みよいまちづくりに寄与します。													
(7)	事業概要	市民の健康被害の未然防止並びに環境保全を確保するため、生活環境に影響を及ぼす大気汚染、水質汚濁及び騒音の効率的な環境監視を行います。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	16	大事業	3	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		95,311	80,722	80,741	76,433	82,083							
		人件費	職員数	人	1.20	1.20	1.10	1.10	5.50						
			総額(B)	千円	9,960	9,537	9,188	9,188	44,935						
		総事業費(A+B)		105,271	90,259	89,929	85,621	127,018							
		特定財源(C)		5,662	1,941	1,827	1,672	1,672							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		5,662	1,827	1,827	1,672	1,672						
			その他		0	114	0	0	0						
		市負担(D)		99,609	88,318	88,102	83,949	125,346							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			99,609	88,318	88,102	83,949	125,346								
財源計(C+D)		105,271	90,259	89,929	85,621	127,018									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	中外テクノス(株)関西支社										
				②	環境計測(株)										
				③	(株)ダイケイサービス関西										
		主な委託内容		環境測定・分析業務 大気環境測定局保守											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 環境監視測定地点内訳(平成28年度) 大気 5地点 水質 47地点 騒音 42地点 計94地点	目標値	(単位:地点)	90.00	88.00	94.00	
			実績値	(単位:地点)	90.00	88.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	大気、水質、騒音の各測定計画に基づいた測定地点(水質地点数のうち地下水については、概況調査地点・継続調査地点のみ)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1,002.88	972.97	
				一般財源(単位:千円)		981.31	953.97	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) 困難な場合		①	指標内容 環境評価実施地点	目標値	(単位:地点)	90.00	88.00	91.00
	実績値			(単位:地点)	90.00	88.00		
	達成度(%)			100.0	100.0			
	目標値の積算方法	大気、水質、騒音の各測定計画に基づいた測定地点	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1,002.89	972.97	
				一般財源(単位:千円)		981.31	953.97	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容					目標		
	②	成果内容					達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>環境監視事業については、そのほとんどが法定受託事務であり、自治事務であっても環境基本計画に定められている事務ですので、事業の妥当性は適切であると考えられます。効率性についても、平成25年度にアウトソーシングを行い改善を図りました。</p> <p>近年、事業者への指導等の成果として、大気環境の状況は改善傾向にありますが、一部の項目では環境基準を達成できていないため、継続して大気環境を注視する必要があります。また、測定機器の老朽化や大気環境測定局の配置見直しなど、適切な大気環境監視を行っていく上での課題が有り、解決に向けた検討を進める必要もあります。</p>					

## 事務事業分析シート

所属名	環境保全課	事業名	環境監視事業	事業区分	その他
事務事業番号	00654				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	<b>96</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	環境保全課	事務事業番号	00654
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>環境監視事業についてはそのほとんどが法定受託事務であり、自治事務であっても環境基本計画に定められている事務であるので、法改正等がなければ、事務改善等を検討しながら、現在の事業を継続する。          大気汚染常時監視において、測定機器や測定データ収集システムの老朽化が進んでおり、計画的な更新が必要です。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	旧環境監視庁舎施設維持管理事業				
担当部名	環境部	室課名	環境保全課	室課長名	道澤 宏行

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和63年度	改正 内容												
(2)	直近の改正														
(3)	根拠法令等	電気事業法、消防法、建築基準法等													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	5	環境を守り育てるまちづくり	節	1	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	旧環境監視庁舎												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	庁舎の維持管理を適切に行います。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	行政財産の減失を防ぎます。													
(7)	事業概要	旧環境監視庁舎の電気設備、消防設備等の総合的な建物の管理を行います。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	16	大事業	3	中事業	2	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		453	703	495	388	489							
		人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10						
			総額(B)	千円	830	795	836	836	817						
		総事業費(A+B)		1,283	1,498	1,331	1,224	1,306							
		(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
			国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
		(内訳)	その他		0	0	0	0	0						
			市負担(D)		1,283	1,498	1,331	1,224	1,306						
			地方債		0	0	0	0	0						
(内訳)	その他		0	0	0	0	0								
	一般財源		1,283	1,498	1,331	1,224	1,306								
財源計(C+D)		1,283	1,498	1,331	1,224	1,306									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	ニッタン(株)関西支社										
				②	北大阪ガーデン										
		主な委託内容		消防設備等保守業務、樹木剪定											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他		内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	環境監視庁舎電気使用量	目標値	(単位:kWh)	24,338.00	2,915.00	3,058.00
			実績値	(単位:kWh)	2,915.00	3,058.00	/	
		達成度(%)		12.0	104.9			
	目標値の積算方法	前年度実績を目標とします。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.51	0.40		
				一般財源(単位:千円)	0.51	0.40		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
	達成度(%)		0.0	0.0				
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
①	活動内容				目標			
	②	成果内容	庁舎の維持管理を適切に行いました。			達成状況	行政財産の滅失を防ぎました。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		施設の次の利活用方法が定まるまでの移行期間として、環境保全課で法的に必要な最小限の維持管理を行います。					

## 事務事業分析シート

所属名	環境保全課	事業名	旧環境監視庁舎施設維持管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00655				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	10	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	70	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	環境保全課	事務事業番号	00655
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>環境監視事業のアウトソーシングに伴い、環境監視庁舎としての維持管理は必要なくなったが、市全体で庁舎の活用方法を決定し、有効に財産を活用する必要がある。活用方法が決定するまでの移行期間として、環境保全課で消防点検や樹木選定等、必要な最小限の維持管理を行っている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	公害防止対策事業				
担当部名	環境部	室課名	環境保全課	室課長名	道澤 宏行

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和56年度	改正内容	大気汚染防止法の改正(水銀に関する規制)											
(2)	直近の改正	平成27年度													
(3)	根拠法令等	大気汚染防止法、水質汚濁防止法、騒音規制法、土壌汚染対策法ほか													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input checked="" type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明		法・府条例に基づかない吹田市遺伝子組換え施設等、病原体等取扱施設及び放射性同位体元素取扱施設に係る市民の安心安全の確保に関する条例等の市条例に基づき、立入検査や指導等を実施しています。											
(5)	総合計画の体系	章	5	環境を守り育てるまちづくり	節	1	細節	10							
(6)	目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	企業等の事業活動												
		目標(どういう状態にしたいのか)	環境法令の遵守												
		結果(どのような効果が得られるのか)	市民の良好な生活環境の保全												
(7)	事業概要	各法令に基づく届出の事前審査や施設の立入検査、指導等を行うことにより、事業活動に伴う大気汚染、水質汚濁、騒音、振動、土壌汚染、悪臭等による公害を未然に防止します。													
(8)	H27事業別予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	16	大事業	3	中事業	3	小事業	1
(9)	事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		3,102	2,748	2,969	2,560	2,665							
		人件費	職員数	人	13.40	14.45	14.50	14.50	13.70						
			総額(B)	千円	111,220	114,835	121,104	121,104	111,929						
		総事業費(A+B)		114,322	117,583	124,073	123,664	114,594							
		特定財源(C)		0	4,192	3,885	3,850	3,301							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	4,192	3,885	3,850	3,301						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		114,322	113,390	120,188	119,814	111,293							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			114,322	113,390	120,188	119,814	111,293								
財源計(C+D)		114,322	117,582	124,073	123,664	114,594									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	(株)建設技術研究所										
				②											
				③											
		主な委託内容		地下水汚染浄化対策検証補助業務											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 大気関係立入件数(延べ)	目標値	(単位:件)	60.00	60.00	/
			実績値	(単位:件)	60.00	65.00	
			達成度(%)		100.0	108.3	
	目標値の積算方法 立入計画に基づく	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1,820.65	1,902.52		
			一般財源(単位:千円)	1,750.78	1,843.29		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 窒素酸化物排出量(固定発生源)	目標値	(単位:トン/年)	113.30	108.40	/
			実績値	(単位:トン/年)	108.40	0.00	
			達成度(%)		95.7	0.0	
	目標値の積算方法 前年度の実績を目標値とします。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1,007.74	0.00		
			一般財源(単位:千円)	969.07	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		市民の生活環境保全に寄与する重大な事業と考えますが、府からの権限移譲により業務量が増加するなかで、より効果的、効率的な事業手法を検討する必要があります。				

## 事務事業分析シート

所属名	環境保全課	事業名	公害防止対策事業	事業区分	その他
事務事業番号	00656				

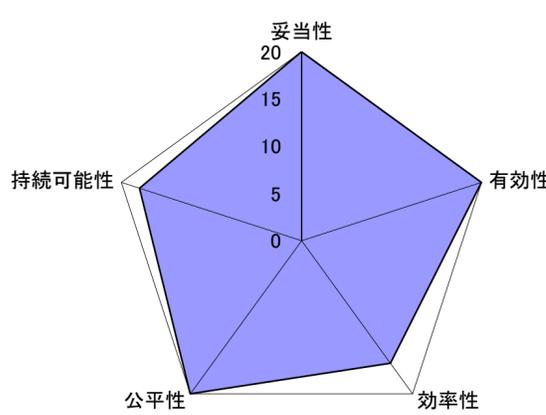
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	16	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	環境保全課	事務事業番号	00656
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>各評価結果に見るよう本事業は、環境汚染対策の推進に大きく寄与しており、市民の求める健康で安全な生活環境を保全するために、行政としての責任を果たしている。</p> <p>法改正や大阪府からの権限移譲により事務量が増大し、一人あたりの業務量が増加しているため、職員配置や事務改善を検討する必要がある。</p> <p>また、南吹田地域における地下水汚染問題については、当該地域の関係者と早期に合意書を締結し、拡散防止措置及び浄化措置に着手する必要があります。今後、学識経験者のご意見も伺いながら、浄化目標の検討を行う必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

南吹田地域の地下水汚染に対し、汚染拡散防止又は浄化対策を実施する場合は、新規事業を設置する必要がある。